

第59回株式会社えふえむ草津 放送番組審議会

令和2年3月12日中止分
紙面協議用次第

次第

1. 近況報告について (資料1)

2. 前回審議会における改善意見等に対する措置事項 (資料2)

3. 訂正または取消し放送の実施状況
 - ・ 前回審議会（令和2年1月16日）以降、本日までの訂正または取消しの放送はなし。

令和2年3月9日

えふえむ草津放送番組審議会 近況報告

近況報告といたしましては、毎日の放送の中で、今年度途中より放送を開始した番組やコーナー、「俳句5・7・GO!!の時間」や「意外と知らない草津の歴史」、「Rineige Radio」、「教えて消防士さん」、「くさつ☆コミュニ Tea Time!!」、「月刊くさつアートセンター」、「Tax Radio! やさしい税のおはなし」、そして、アニメファン向けの番組の放送、「おはよう785」につきましては、引き続き順調に放送させていただいております。

それでは、前回1月16日以降の大きな取り組み等について、時系列で報告させていただきます。まず、毎月17日に行っております緊急割込み試験放送試験につきましては、1月は、えふえむ草津の担当月でございましたが、非常割込放送機器の不具合が見つかったため、市の方で対応いただくとともに、湖南消防局の端末にも異常が見つかったため入れ替えをメディアトライ社が行ってくれました。

そして、1月24日には、草津における難聴区域問題解消に向けた技術指導を受けるべく、浜松市にある浜松エフエム放送(株)(FM Haro)を訪問いたしました。そして、それを受けての現地確認ということで、浜松エフエム放送(株)の土居技術担当取締役に翌週1月29日に来草いただきアンテナ等現地調査を行っていただくとともに、近畿通信局と協議を行うためのアンテナ等改修設計案を作成いただくことをお願いいたしました。

そして、翌月の2月11日の建国記念の日には、滋賀県内FM放送局6社が災害時に連携して放送を行う体制づくりの一環として、防災ラジオ滋賀～大地震でもラジオを止めるな～と題した特別番組を13時から15時の2時間お送りしたところです。えふえむ草津では、大きな地震が発生したときに、コミュニティFM局と市役所はどのように連携することができるのかを話し合っていました。

そして、翌月の3月3日には、草津警察署の協力をいただきながら、市民の皆さんを犯罪や事故等から守るため、防犯情報等をえふえむ草津の番組内で放送する「警察情報等の放送事業に関する協定書」を締結し、4月から草津警察署署員と弊社パーソナリティが掛け合うトーク形式の15分～20分の番組を月に1回放送する予定です。放送日と時間帯は現在調整中です。

また、同じく3月3日ですが、エフエムいわぬまの番組「i スマイル」内の“おらほの街の旬の話題”で、えふえむ草津をとりあげてくれるということで、わが社のパーソナリティ中島裕恵さんがインタビューに答える形で「わが町草津」の紹介をしてくれました。

大きな取り組み等については以上のとおりですが、その他の報告といたしましては、ふるさと納税返礼品にえふえむ草津の番組出演等を登録するといった取り組みも行ったところとして、ふるさと納税の第1号が早く出てこないかと待ちわびているところです。

そして、今回の報告の最後となりますが、2月19日には、Jアラート全国一斉テストが11時から行われました。

今後も、公共公益放送の充実を目指した取り組みや一般の娯楽番組の拡大に努めてますのでどうぞよろしくお願いいたします。

資料 2

第 58 回 (R2. 1. 16) 番組審議会分

前回開催の番組審議会での改善意見、質問に対する措置事項

30分番組の番組“あすくる草津～中谷所長の「ちょっと e-talk」”について、12分程度に編集した音源を聞いた上で審議に入った。

【 第 3 週金曜日 (再放送: 翌日土曜 19:00～ / 深夜 2:00～)
パーソナリティ 中谷仁彦 (きみひこ) 聞き手 菅野らら

番組内容を受けての質疑応答

(2) 番組「あすくる草津～中谷所長の「ちょっと e-talk」」について

(放送事業者からの説明)

- この番組は、今回は大学の先生だが毎回多彩なゲストを招いてトークを行っている。
- 例えば、若い頃にあすくる草津の世話になり、その後企業の支援を受けて現在は会社の部長をされている方などが出演するなど、信頼できる人の大切さを訴えたり青少年の健全育成や悩み事の解決に向けて糸口を探るといった趣旨で放送している。

(番組に対する審議委員からの主な意見)

- 30分番組を編集してあるので途中でどのような話になっているか分からないが、音源を聞いた範囲では誰に何を伝えようとしているのかが分かりにくい。
- 番組の冒頭にその日の放送内容が分かるよう、全体の要旨を伝えた方が良い。また、初めに聞いた人でも、どのような番組かが分かるよう心がけてほしい。
- テーマ設定をはっきりさせることによって、リスナーの幅も広がるのではないかと。

○「あすくる草津」は誰もが知っているという施設では無いので、サービス内容や番組の趣旨な

どを毎回明確に伝えた方が良いのではないかと。そうすることによって、相談ごとがあれば「あ

すくる草津」に来てもらいたいのか、あるいはラジオを通じて青少年に直接メッセージを伝え

たいのかが明確になるだろう。

○専門的な内容だけでなく、誰もが分かりやすい内容で広くメッセージが伝わるような工夫が

必要。

○例えば「オカン、うるさいわあ〜」というような、キャッチーで興味を持ってもらえそうなテーマ

を掲げて、そこから関心を寄せていただくといった手法もあるので参考にしてもらいたい。

(放送事業者からの回答)

○基本的には、いじめや不登校、不良行為等について、あすくる草津で気軽に相談していた

だけよう促している番組であり、問題を抱えている方々にメッセージを伝えて、何らかの手

助けができれば良いと思う。

○内容は毎回違っており、ターゲットも幅広いことから、番組の冒頭に放送内容が分かるように

テーマ設定やコンセプトを明瞭に示すなど工夫していきたい。

その他の質疑応答

特になし